

静岡県月例経済報告

(令和5年11月号)

……令和5年9月を中心とした県内経済のすがた……

No. 571

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7
・生産面	15
・雇用面	17
・その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和5年9月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和5年9月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等の影響から一部に弱さがあるものの、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される。ただし、物価高騰や海外経済の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱い動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、持ち直している」

大型小売店販売額(9月)は、百貨店が3か月連続、スーパーが6か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(9月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストアが11か月連続、ドラッグストアが29か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも21か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(9月)は、乗用車が13か月連続、軽自動車が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも13か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(9月)は、持家が8か月連続、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家が2か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(9月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観(9月調査)の令和5年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(9月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額(9月)は、エアコンが4か月連続、二輪自動車類が3か月連続、科学光学機器が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機が2か月ぶり、自動車が9か月連続、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(9月)は、パルプが4か月ぶり、紙類及び同製品が3か月連続、原動機が2か月ぶり、自動車の部分品が6か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品が4か月連続、木材が10か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも6か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、1,168億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱い動きとなっている」

鉱工業生産指数(9月)は、業種別にみると、輸送機械が7か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月連続、電気機械が3か月連続、化学が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が11か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも4か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は4か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では3か月ぶりに前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに一部で弱さがみられる」

有効求人倍率(9月)は1.19倍となり、前月を0.01ポイント下回った。全国値を0.10ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(9月)は、6か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(8月)は、前年と同水準であった。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額はいずれも前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(9月)は、前年同月比 0.3%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(9月)は、前年同月比 11.1%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(10月)は、件数は17件(前年同月比 22.7%減)と前年実績を下回り、負債総額は6,592百万円(同 152.2%増)と前年実績を上回った。

<トピックス>



前売入場券好評発売中

浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU 2024

浜名湖ガーデンパーク会場

2024年

4/6 **土** - 6/2 **日**

9:30~17:00

はままつフラワーパーク会場

2024年

3/23 **土** - 6/16 **日**

9:00~17:00

電子チケットの
購入はこちらから

アソビュー!



Webket®



前売入場券 販売場所

コンビニ(セブンイレブン、ファミリー
マート、ローソン、ミニストップ)、浜名湖
ガーデンパーク、はままつフラワーパーク
正面ゲート窓口 など

チケット購入方法
取扱い店舗詳細は
こちら



主催 [浜名湖花博20周年記念事業実行委員会] 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目12-1 (浜松総合庁舎5階)



御朱印を集めて豪華景品を当てよう!



黄金KAIDO 葵の御紋巡礼の旅

キャンペーン

夏の陣 7月1日(土)～10月31日(火)

冬の陣 12月1日(金)～^{2024年}2月29日(木)

おうごん
黄金KAIDOとは?

徳川家康公が開発に力を注いだ新潟県の「佐渡金山」と静岡県の「土肥金山」、両者を結ぶ道中には山梨県の「湯之奥金山」、長野県の「金鶏金山」があり、これらを結ぶ陸路と海路のルートが「黄金KAIDO」です。



金賞

夏の陣・冬の陣の指定スポット
24箇所のお朱印を集めて応募しよう!

葵の御紋入り
黄金KAIDO
特別限定仕様小判

黄金小判

抽選で20名様
を進呈!



※画像はイメージです。

銀賞

指定スポットのうち
8箇所のお朱印を集めて応募しよう!

10,000円分 旅行券

抽選で30名様
を進呈!

詳細は裏面へ!

新潟県 長野県 山梨県 静岡県

静岡県は、「パートナーシップ構築宣言」を促進しています！

○令和5年6月7日に産官労の3者で「**パートナーシップ構築宣言の普及・促進と実効性向上に向けた共同宣言**」を行い、「**適切な価格転嫁**」の気運醸成に連携して取り組んでいます。

○宣言登録数が増加傾向にあるなど、「**適切な価格転嫁**」の実現に向けた取組は進んでいます。



○静岡県では、適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、**相談窓口などの情報をとりまとめたホームページで公開しましたのでご活用ください。**

価格交渉に困ったら

適正な取引に向けた価格交渉に関するお悩みを解決するため、相談窓口などの情報を掲載しています。



まず何をすればよいか分からない、そんなときにご覧ください。

何をすればいいかわからない

どこに相談していいかわからない

価格交渉に踏み出せない

(1) 交渉のプロセスを知る

(2) 交渉の準備をする
(材料費や労務費のデータ収集、「原価」の把握)

(3) 支援窓口を頼る

右記QRコードからご覧ください。



静岡県 経済産業部 産業政策課

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の申込状況

(令和5年11月21日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 872	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 58	件 398	建設業37.7%、卸小売業17.3%、製造業15.3%、運輸業5.0%、飲食業3.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 648	件 3,569	建設業24.7%、卸小売業22.3%、製造業22.2%、飲食業6.7%、運輸業4.3%、宿泊・旅行業0.8%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 5	件 14	製造業64.3%等
計		億円 12,631	件 75,524	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
農・林・漁	21.5	11.1	▲34.0	5.1	9.8	▲19.9	▲22.7	▲22.0	▲31.0	▲3.9	▲28.3	▲24.4
建設業	▲0.3	▲2.9	▲3.1	▲14.0	▲8.6	▲0.5	▲8.5	▲7.0	▲3.9	▲9.9	▲2.0	1.2
製造業	3.1	▲2.0	▲3.4	▲7.2	▲16.4	▲18.1	▲4.8	▲13.4	▲17.4	▲12.8	▲17.7	▲13.8
卸売・小売業	9.9	12.9	29.7	▲2.1	9.3	19.9	19.1	2.6	▲3.5	14.6	▲16.8	▲16.6
金融、保険 不動産業	17.0	7.7	14.5	▲9.1	11.1	6.3	▲13.7	18.4	▲2.9	▲6.1	12.1	▲3.9
運輸業	0.8	6.8	▲12.9	▲10.7	▲17.3	▲8.7	9.6	▲2.6	▲5.3	▲3.2	▲4.2	▲10.7
情報通信業	9.0	11.0	1.1	▲12.4	15.5	▲22.0	▲6.6	17.6	▲22.3	7.0	7.1	▲15.5
飲食、宿泊 サービス業他	11.5	19.1	8.3	4.0	7.0	5.0	▲5.1	16.4	0.3	▲17.8	2.7	▲1.6
県全体	5.6	5.5	3.2	▲1.8	▲1.4	▲1.5	0.4	▲0.8	▲6.6	▲2.4	▲6.0	▲10.4

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 11月	12月	R5年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
農・林・漁・鉱業	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
建設業	3	1	1	4	5	2	2	2	8	6	7	2
製造業	4	6	4	6	4	3	3	2	5	2	4	6
卸売・小売業	1	4	4	4	8	4	3	4	5	2	6	2
金融、保険 不動産業	1	2	3	1	1	0	2	0	2	0	3	0
運輸業	1	1	3	2	0	0	0	0	0	0	1	1
情報通信業	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	2
飲食、宿泊 サービス業他	3	4	3	2	10	2	6	7	4	5	8	4
県全体	14	18	19	19	30	11	17	15	24	15	31	17
うちコロナ 関連倒産	2	5	8	3	11	8	2	9	5	4	5	4

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

9月 = 35,452百万円

*前年同月比： 0.3%増

(県内3百貨店、158スーパー合計)

<概況>

9月の大型小売店販売額は35,452百万円で、前年同月比 0.3%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 0.2%増）が3か月連続、スーパー（同 0.3%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（同 3.7%減）が4か月ぶり、身の回り品（同 6.2%減）が3か月ぶり、家庭用品（同 5.2%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、飲食料品（同 0.5%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.5%増と、15か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	33,556	36,551	35,630	37,198	36,227	38,847	37,948	35,452
前年同月比(%)	0.1	0.3	2.7	0.1	0.9	3.3	1.9	0.3
うち百貨店(%)	7.9	6.5	4.4	▲0.2	▲0.2	4.1	8.0	0.2
スーパー(%)	▲1.2	▲0.9	2.4	0.2	1.0	3.2	1.0	0.3
(参考1)全国前年同月比(%)	4.7	3.2	4.8	3.4	4.1	5.5	6.0	4.5
うち百貨店(%)	20.3	9.9	8.9	6.6	7.2	8.8	12.0	9.4
スーパー(%)	▲0.0	0.7	3.4	2.3	2.9	4.3	4.2	2.8
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.9	0.9	3.0	2.0	2.4	4.9	4.1	2.5

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
衣料品	8.5	2.4	5.3	▲0.4	1.1	9.8	0.2	▲3.7
うち紳士服・洋品	14.5	7.7	10.0	4.5	4.3	14.4	8.4	▲0.5
婦人・子供服・洋品	8.1	1.8	5.2	▲0.7	1.0	9.5	▲1.6	▲3.5
身の回り品	13.3	2.0	11.8	7.1	▲1.7	7.7	23.3	▲6.2
飲食料品	▲1.1	▲0.5	2.4	0.2	0.3	2.2	1.0	0.5
家庭用品	▲10.8	▲10.8	▲8.2	▲10.5	2.1	▲2.0	▲6.5	▲5.2
うち家庭用電気機械器具	▲16.5	▲13.5	▲11.7	▲19.6	5.2	▲5.2	▲6.7	▲6.0

(注)店舗数調整済、全月速報値

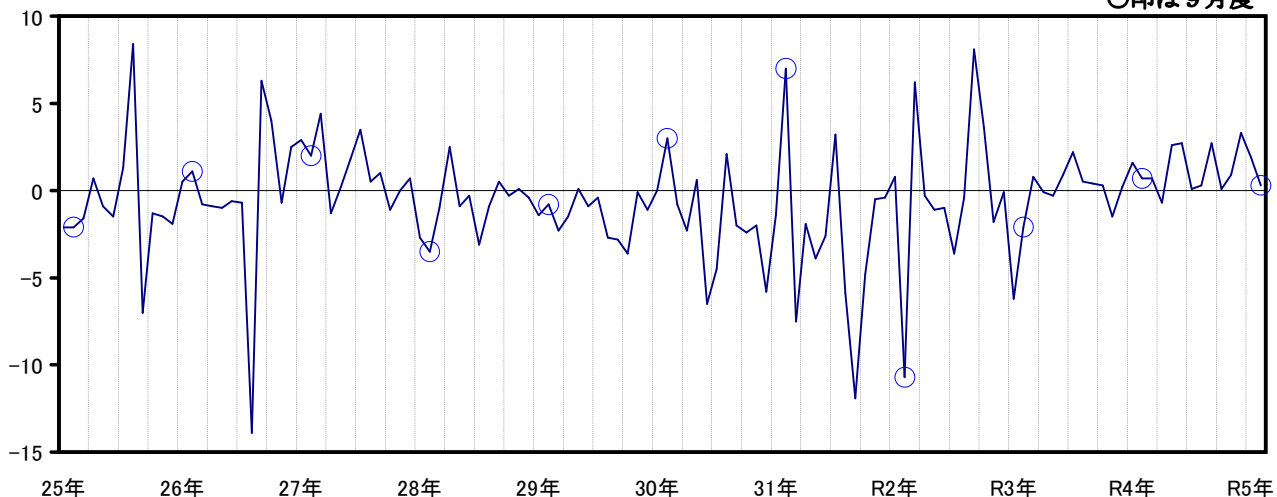
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は9月度



(2) 専門量販店等販売額

9月 = 76,136百万円

*前年同月比：2.9%増

(県内93家電大型専門店、1,658コンビニエンスストア、596ドラッグストア、108ホームセンター合計)

<概況>

9月の専門量販店等販売額は76,136百万円で、前年同月比2.9%増となり、21か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比3.4%減)、ホームセンター(同2.2%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、コンビニエンスストア(同0.6%増)が11か月連続、ドラッグストア(同9.0%増)が29か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
販売額(百万円)	68,228	77,815	75,121	76,578	75,162	84,147	80,673	76,136
前年同月比(%)	4.8	2.3	5.2	2.9	2.0	5.4	2.0	2.9
うち 家電大型専門店(%)	1.4	▲4.3	▲4.8	▲4.3	▲7.8	1.5	▲2.8	▲3.4
コンビニエンスストア(%)	4.4	3.5	3.9	2.5	0.8	3.4	1.3	0.6
ドラッグストア(%)	7.9	5.5	10.8	8.8	8.2	9.3	5.6	9.0
ホームセンター(%)	▲0.7	▲4.3	2.3	▲6.0	▲2.7	4.3	▲3.1	▲2.2
(参考)全国前年同月比(%)	4.5	3.8	4.2	3.8	2.9	6.5	5.7	4.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

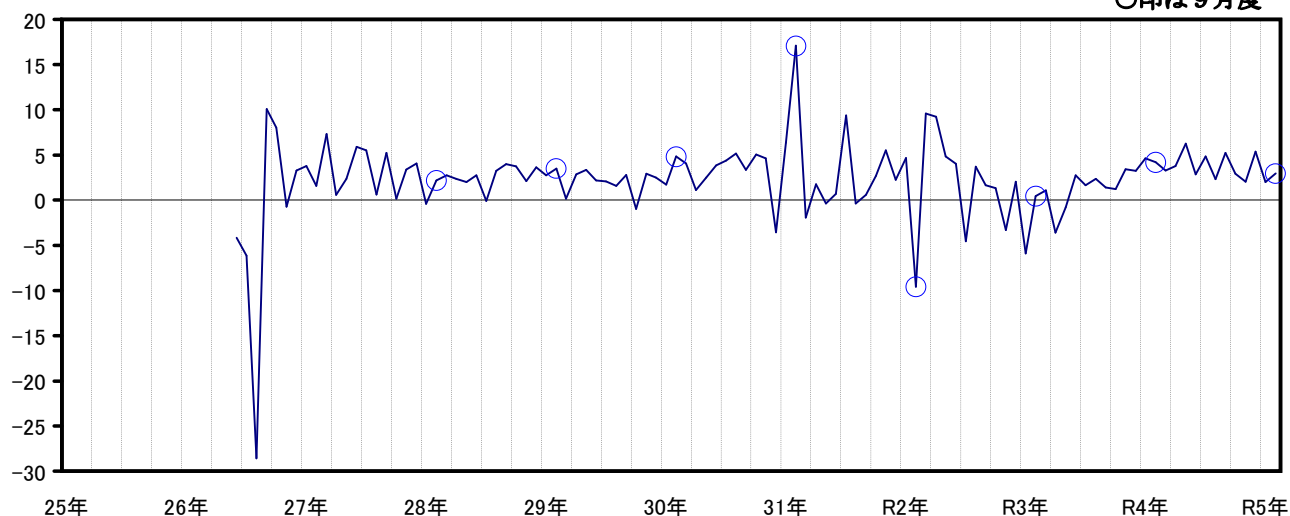
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は9月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数 9月 = 14,721 台

*前年同月比： 11.7%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

9月の自動車(新車)新規登録台数は14,721台(前年同月比 11.7%増)と、13か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 10.6%増)が13か月連続、軽自動車(同 12.9%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録台数(台)	15,853	19,853	11,913	11,291	13,003	12,119	11,120	14,721
前年同月比(%)	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7
(参考)全国前年同月比(%)	22.9	12.1	18.5	28.4	23.9	11.4	19.8	11.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移> (単位：%)

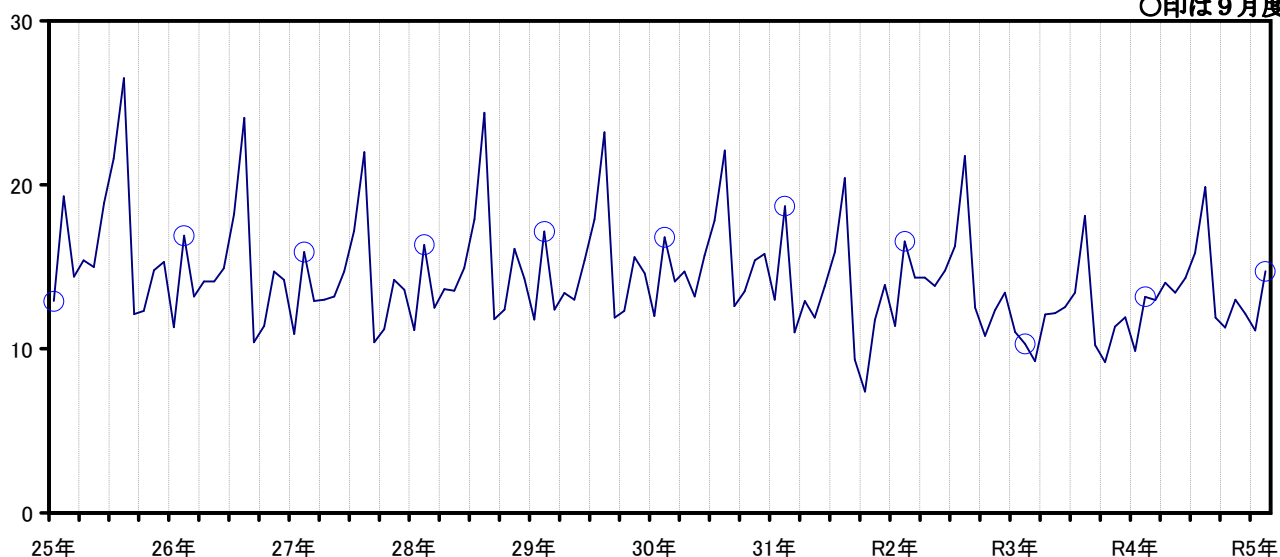
	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全乗用車	18.2	9.7	16.5	22.8	14.4	1.6	12.6	11.7
乗用車	25.8	17.1	30.8	35.0	24.4	16.8	12.9	10.6
軽自動車	11.0	2.2	4.0	11.5	4.5	▲ 14.2	12.3	12.9

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は9月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

9月 = 1,575 戸

*前年同月比： 0.6%増

<概況>

9月の新設住宅着工戸数は1,575戸で、前年同月比 0.6%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 1.8%減）が8か月連続、分譲住宅（同 28.4%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、貸家（同 24.7%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
戸数（戸）	1,509	1,656	1,713	1,672	1,621	1,712	2,028	1,575
前年同月比（%）	▲ 2.7	▲ 4.3	0.4	5.4	▲ 7.3	▲ 7.6	17.2	0.6
うち持家（%）	▲ 8.8	▲ 15.5	▲ 7.8	▲ 11.1	▲ 14.6	▲ 6.9	▲ 3.2	▲ 1.8
貸家（%）	8.3	29.2	▲ 12.9	17.3	13.0	▲ 27.5	63.5	24.7
分譲住宅（%）	▲ 35.8	▲ 29.2	33.5	34.5	▲ 16.6	40.1	2.2	▲ 28.4
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 0.3	▲ 3.2	▲ 11.9	3.5	▲ 4.8	▲ 6.7	▲ 9.4	▲ 6.8

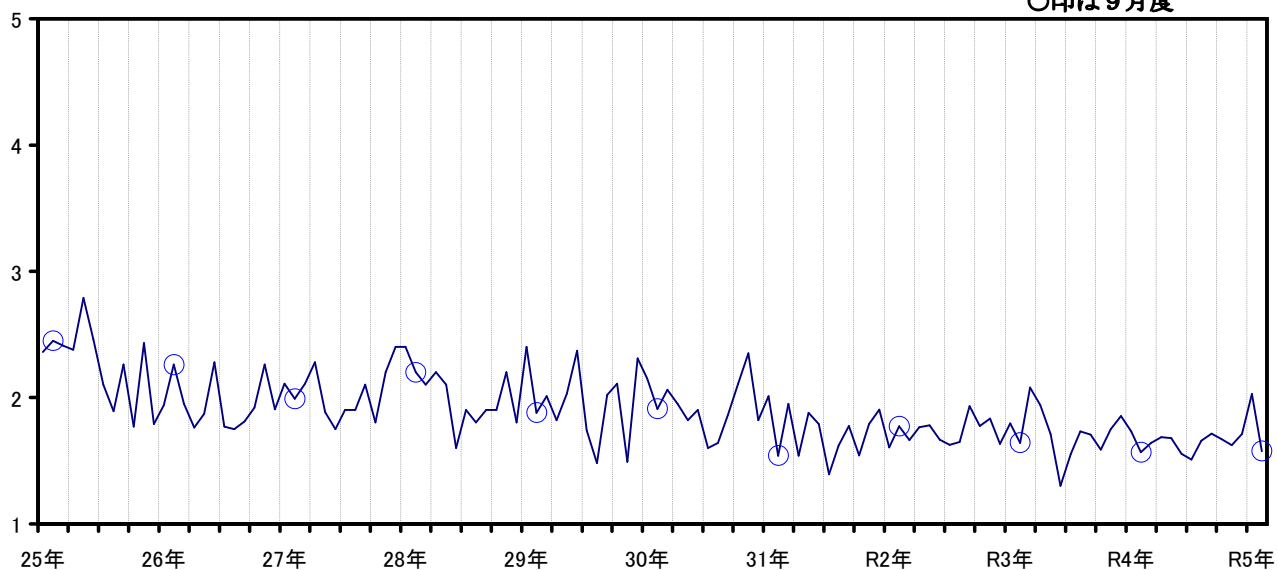
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は9月度



3 公共工事請負金額

9月 = 33,777百万円

*前年同月比： 6.5%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

9月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は33,777百万円で、前年同月比 6.5%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は928件で、前年同月比 11.1%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
金額（百万円）	19,256	30,045	54,507	40,649	35,790	27,166	26,199	33,777
前年同月比（%）	62.3	15.6	2.2	35.5	6.8	▲10.6	▲28.9	▲6.5
年度累計前年同月比（%）	▲11.9	▲10.0	2.2	14.2	12.1	7.4	0.1	▲1.0
件数（件）	316	627	500	612	844	760	755	928
前年同月比（%）	52.7	30.1	▲3.7	17.2	9.8	4.1	▲6.4	▲11.1
年度累計前年同月比（%）	▲5.4	▲3.1	▲3.7	6.8	8.1	6.9	3.7	0.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

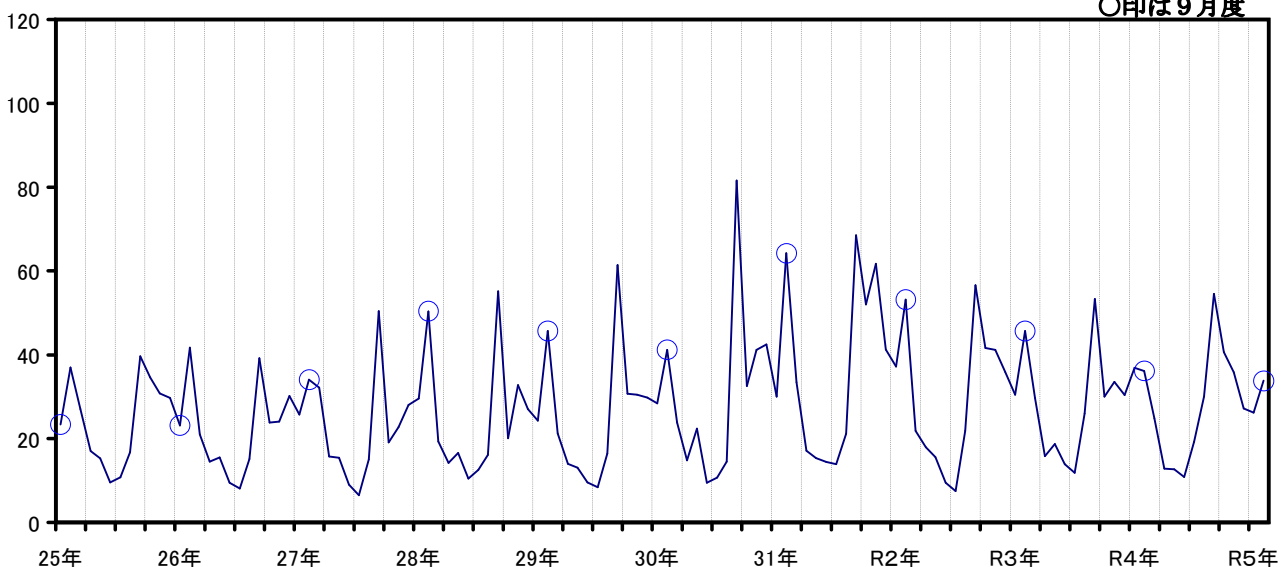
	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
国	9.1	▲39.5	▲35.9	11.2	▲0.5	▲76.1	7.7	11.8
独立行政法人等	618.7	43.8	30.8	33.3	▲80.8	▲34.6	▲99.5	161.4
県	36.6	27.7	0.0	49.1	15.9	34.9	▲21.3	▲20.5
市町	89.7	56.7	▲7.9	28.3	31.2	▲12.0	▲6.9	0.4
地方公社	-	-	▲92.5	-	757.4	▲67.0	▲6.9	-
その他	961.5	86.0	84.4	101.4	▲62.3	▲74.3	▲83.2	16.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店
○印は9月度



4 設備投資

<概況>

令和4年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加した。

令和5年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 29.7%増）、非製造業（同 4.1%増）、全産業（同 18.2%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 17.9%増）、非製造業（同 5.5%増）、全産業（同 15.0%増）においていずれも増加する計画となっている。

9月の着工建築物床面積（非居住用）は52,555㎡で、前年同月比 33.3%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比%（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R4年度	R5年度 (計画)
全産業	県	9.1	(0.6) 18.2
	全国	9.2	(1.0) 13.0
製造業	県	19.2	(0.8) 29.7
	全国	9.0	(▲0.1) 15.0
非製造業	県	▲1.1	(0.3) 4.1
	全国	9.3	(1.7) 11.8

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R4年度 (実績)	R5年度 (計画)
全産業	県	12.6	(1.0) 15.0
	全国	7.4	(0.8) 13.3
製造業	県	17.5	(1.2) 17.9
	全国	8.5	(0.5) 12.0
非製造業	県	▲1.0	(0.3) 5.5
	全国	6.2	(1.2) 14.7

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年9月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和5年9月調査)」

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	65,360	107,220	78,061	134,431	138,959	105,191	83,901	52,555
前年同月比（%）	▲1.0	10.3	▲21.8	2.7	30.3	▲57.1	▲1.5	▲33.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲3.8	▲22.7	▲1.3	▲17.0	▲34.2	▲27.5	▲11.5	0.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R5年6月	R5年9月	R5年12月 (予測)
全産業		4	4	6
	製造業	▲4	▲3	0
	非製造業	12	11	13
（参考）全国・全産業		8	10	8

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和5年9月調査)」

5 輸出

9月 = 230,794百万円

*前年同月比： 7.5%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸出総額は230,794百万円で、前年同月比 7.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 36.6%減）が4か月連続、二輪自動車類（同 3.8%減）が3か月連続、科学光学機器（同 15.1%減）が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 21.2%増）が2か月ぶり、自動車（同 65.9%増）が9か月連続、自動車の部分品（同 49.0%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 9.0%減）が10か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 11.2%増）が4か月ぶり、EU向け（同 22.7%増）が13か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出総額(百万円)	210,327	235,298	224,715	191,860	224,383	234,264	199,106	230,794
前年同月比(%)	13.6	3.0	5.0	5.2	0.0	2.1	▲4.8	7.5

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原動機	40.6	6.4	15.4	27.5	▲17.2	2.8	▲14.2	21.2
エアコン	123.2	37.9	51.4	2.8	▲18.2	▲20.6	▲12.5	▲36.6
自動車	51.3	109.4	37.7	13.0	53.0	60.0	69.4	65.9
自動車の部分品	▲20.4	▲18.4	▲9.9	8.0	▲10.7	36.1	18.2	49.0
二輪自動車類	23.6	12.2	7.6	23.8	29.4	▲7.6	▲36.5	▲3.8
科学光学機器	38.9	19.4	2.6	15.0	▲0.1	0.6	9.1	▲15.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	▲13.1	▲13.5	▲13.9	▲13.1	▲13.1	▲10.4	▲8.0	▲9.0
米国	40.4	▲0.7	15.8	5.9	▲7.2	▲0.1	▲15.3	11.2
EU	40.5	28.9	29.9	43.6	25.4	24.2	9.4	22.7

<資料>清水税関支署

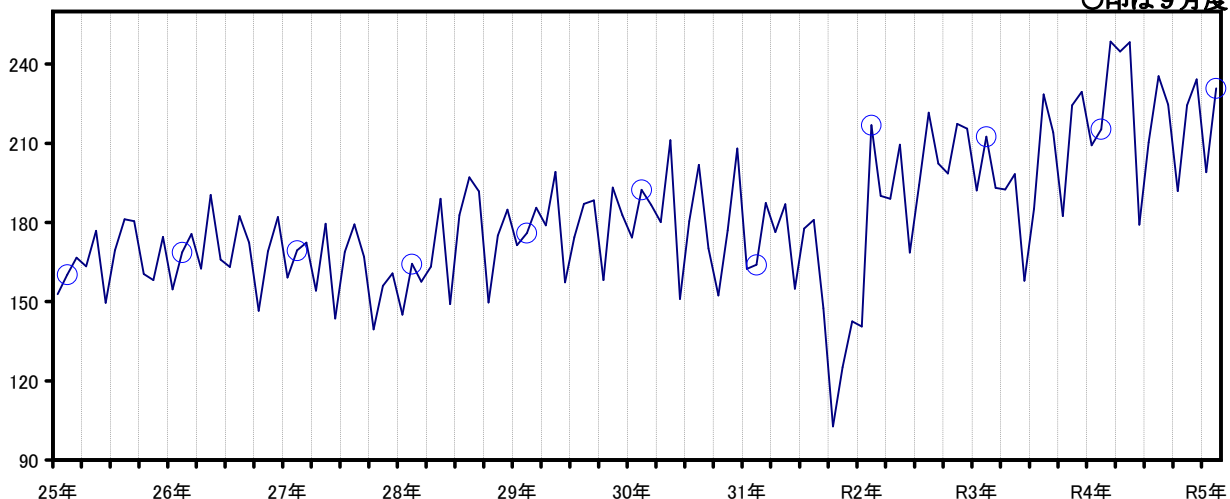
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



6 輸入

9月 = 114,029百万円

*前年同月比： 14.2%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

9月の清水税関支署管内の輸入総額は114,029百万円で、前年同月比 14.2%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、パルプ（前年同月比 1.3%増）が4か月ぶり、紙類及び同製品（同 35.2%増）が3か月連続、原動機（同 23.4%増）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 28.1%増）が6か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類及び同調製品（同 4.8%減）が4か月連続、木材（同 33.4%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（同 24.0%減）が3か月連続、米国から（同 30.6%減）が3か月ぶり、EUから（同 12.0%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸入総額(百万円)	133,116	133,157	122,996	121,341	124,354	111,552	106,987	114,029
前年同月比(%)	36.4	20.2	▲10.3	▲0.3	▲7.7	▲7.2	▲16.5	▲14.2

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
魚介類及び同調製品	3.6	10.9	▲18.4	5.7	▲27.1	▲18.7	▲16.0	▲4.8
木材	▲49.1	▲10.5	▲9.7	▲19.4	▲45.5	▲35.5	▲32.3	▲33.4
パルプ	▲1.5	7.7	▲34.7	16.8	▲25.0	▲41.1	▲40.9	1.3
紙類及び同製品	15.7	58.0	0.3	19.3	▲12.8	7.3	5.9	35.2
原動機	▲29.4	▲53.2	▲43.9	▲5.3	▲25.4	2.7	▲11.8	23.4
自動車の部分品	▲6.8	▲3.9	12.1	24.0	53.4	38.2	25.5	28.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
アジア	3.4	32.5	▲3.2	▲14.8	8.3	▲4.8	▲2.5	▲24.0
米国	370.6	27.5	23.0	98.1	▲22.1	18.7	13.0	▲30.6
EU	3.9	▲30.6	▲5.2	15.6	▲9.5	12.9	▲31.7	▲12.0

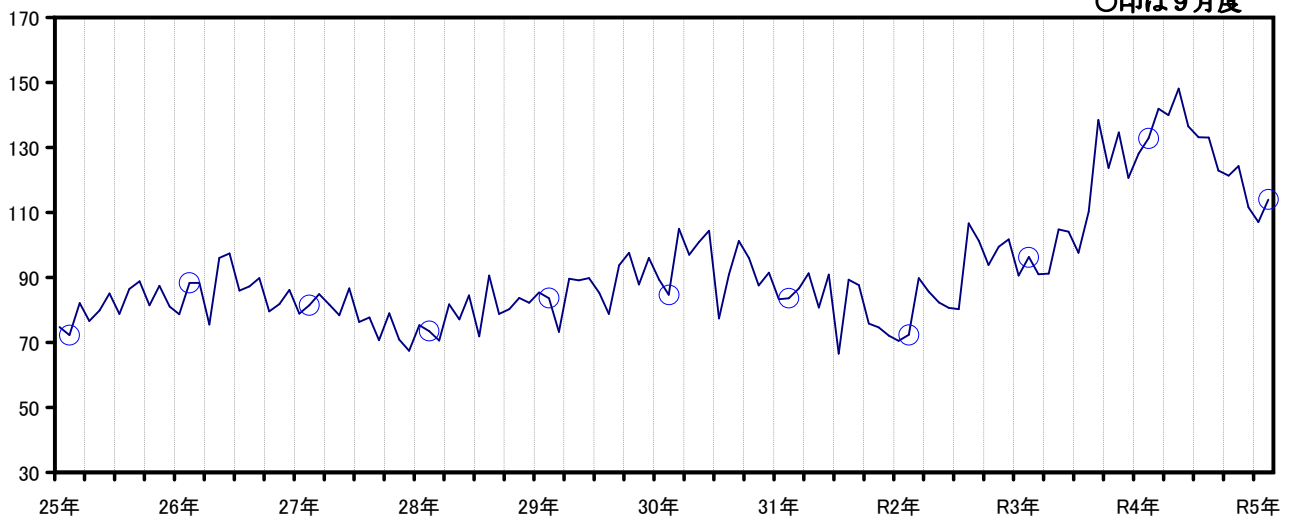
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は9月度



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

9 月 = 92.9

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%増

*前年同月比(原指数) : 5.4%減

<概 況>

9月の鉱工業生産指数(総合)は92.9(季節調整済指数)で、前月比は3.0%増と、4か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は5.4%減と、4か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、輸送機械(前年同月比 4.9%増)が7か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 7.1%減)が2か月連続、電気機械(同 33.2%減)が3か月連続、化学(同 2.0%減)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 5.5%減)が11か月連続、食料品・たばこ(同 1.6%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指 数	89.5	94.3	94.8	95.5	93.1	90.8	90.2	92.9
前 月 比 (%)	▲ 2.9	5.4	0.5	0.7	▲ 2.5	▲ 2.5	▲ 0.7	3.0
前 年 同 月 比 (%)	1.3	5.4	2.0	13.6	▲ 0.6	▲ 3.7	▲ 6.1	▲ 5.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 0.7	4.2	0.0	▲ 2.3	▲ 4.4	▲ 4.4

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

ただし、全国鉱工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	10.9	35.3	7.1	26.6	▲ 11.2	8.4	▲ 19.2	▲ 7.1
電 気 機 械 工 業	4.0	▲ 11.9	6.6	46.2	10.1	▲ 17.9	▲ 19.9	▲ 33.2
輸 送 機 械 工 業	▲ 3.7	11.5	5.9	16.1	6.1	0.8	3.5	4.9
化 学 工 業	2.3	▲ 5.3	▲ 1.9	2.9	0.9	▲ 2.1	0.9	▲ 2.0
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 3.7	▲ 3.6	▲ 6.5	▲ 6.5	▲ 5.9	▲ 6.3	▲ 4.4	▲ 5.5
食料品・たばこ工業	1.6	2.6	▲ 4.6	5.8	▲ 7.9	▲ 6.2	▲ 6.0	▲ 1.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

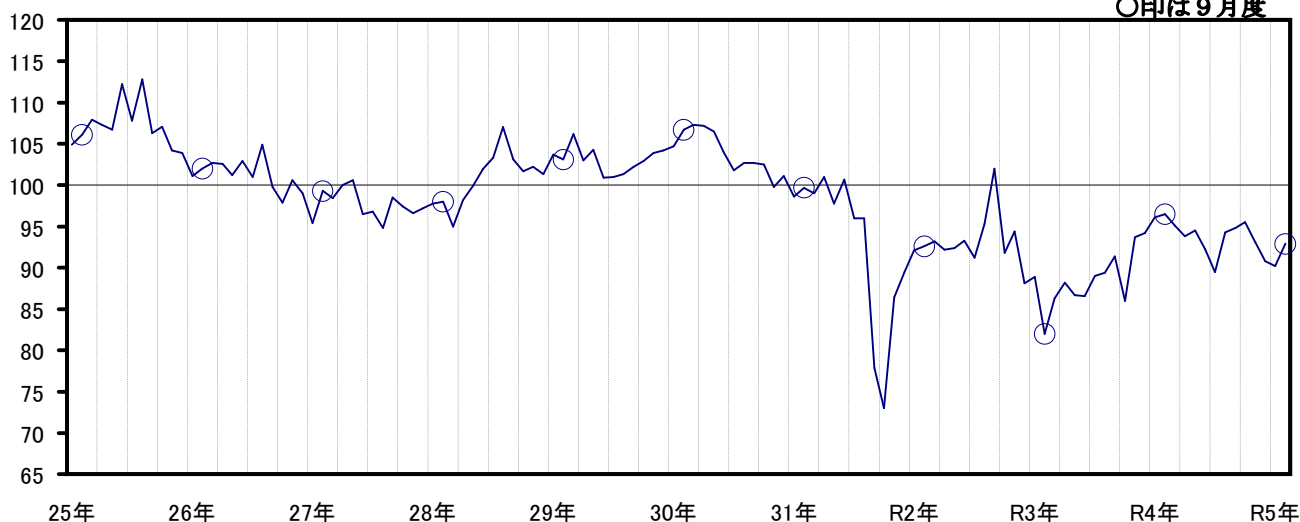
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は9月度



(2) 鋳工業在庫指数

9月 = 111.1

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.2%増

*前年同月比(原指数) : 2.1%増

<概況>

9月の鋳工業在庫指数(総合)は111.1(季節調整済指数)で、前月比は4.2%増と、2か月連続で増加した。また、前年同月比(原指数)は2.1%増と、3か月ぶりに前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 21.4%増)が9か月連続、食料品・たばこ(同 18.4%増)が3か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同 10.7%減)が2か月連続、輸送機械(同 5.2%減)が3か月連続、化学(同 4.2%減)が11か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 0.8%減)が2か月ぶり前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指数	102.6	103.2	111.3	108.2	109.1	104.7	106.6	111.1
前月比(%)	▲ 3.8	0.6	7.8	▲ 2.8	0.8	▲ 4.0	1.8	4.2
前年同月比(%)	▲ 1.4	▲ 3.8	4.3	1.0	3.6	▲ 3.3	▲ 2.2	2.1
(参考)全国前年同月比(%)	1.6	2.3	6.0	7.3	5.9	5.7	3.2	0.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数
ただし、全国鋳工業指数は、令和5年4月から令和2年=100に改定

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
はん用・生産用・業務用機械工業	5.6	10.7	15.1	23.5	12.8	22.2	19.5	21.4
電気機械工業	17.3	9.0	10.1	15.7	13.6	11.0	▲ 1.8	▲ 10.7
輸送機械工業	2.7	19.8	11.8	22.6	12.6	▲ 26.2	▲ 6.5	▲ 5.2
化学工業	▲ 25.3	▲ 25.5	▲ 3.7	▲ 18.8	▲ 2.1	▲ 0.4	▲ 6.8	▲ 4.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.9	3.3	7.0	2.8	▲ 0.1	▲ 2.5	0.0	▲ 0.8
食料品・たばこ工業	27.4	▲ 7.3	24.0	5.4	9.7	▲ 16.0	▲ 3.7	18.4

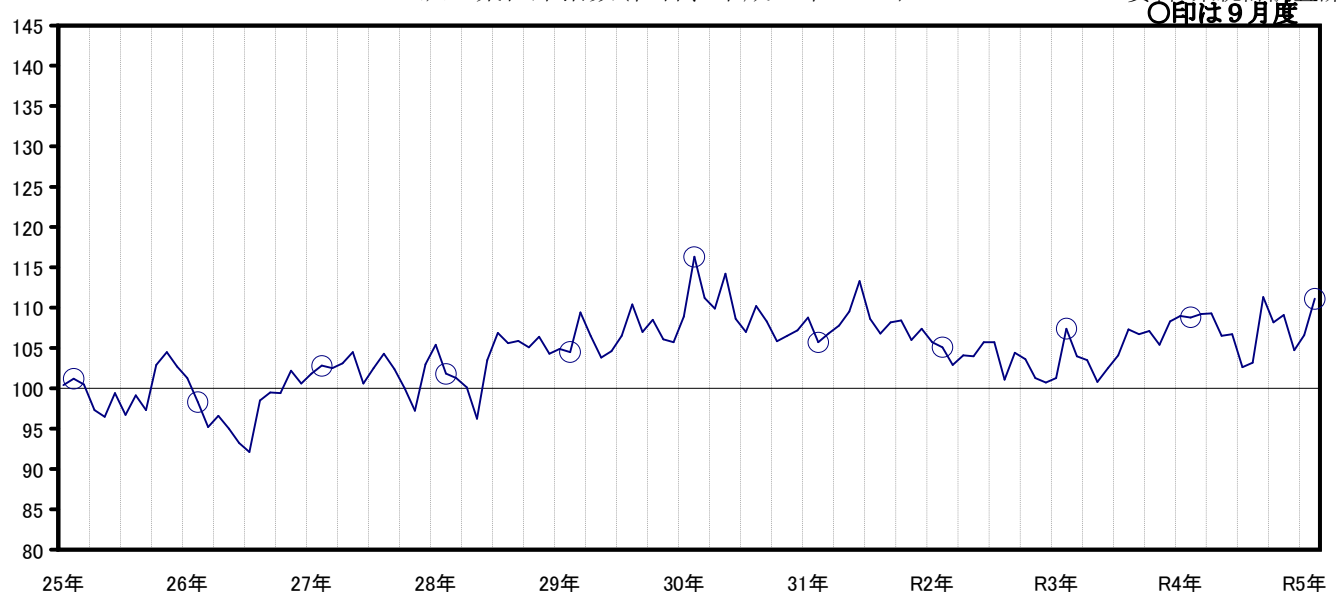
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

9 月 = 1.19倍

*前月比 (季節調整値) : 0.01ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概 況>

9月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.19倍となり、前月を0.01ポイント下回った。32か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.10ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比7.9%減)は4か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比2.8%増)が6か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同4.1%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同12.4%減)が11か月連続、情報通信業(同13.8%減)が3か月ぶり、運輸業・郵便業(同2.5%減)が4か月連続、卸売業・小売業(同13.6%減)、医療・福祉(同10.5%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
県	1.27	1.23	1.24	1.26	1.26	1.22	1.20	1.19
全 国	1.34	1.32	1.32	1.31	1.30	1.29	1.29	1.29

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
建 設 業	▲ 9.6	0.3	▲ 7.3	▲ 7.2	▲ 3.2	▲ 10.9	▲ 3.0	2.8
製 造 業	▲ 13.7	▲ 19.0	▲ 1.1	▲ 7.3	▲ 16.8	▲ 9.6	▲ 15.8	▲ 12.4
情 報 通 信 業	27.2	▲ 17.3	▲ 13.6	26.6	▲ 22.6	7.0	15.9	▲ 13.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 15.3	▲ 8.6	17.8	6.1	▲ 9.5	▲ 1.3	▲ 4.5	▲ 2.5
卸 売 業 ・ 小 売 業	7.1	23.6	34.6	12.0	▲ 2.2	40.0	▲ 4.4	▲ 13.6
医 療 ・ 福 祉	▲ 2.5	▲ 5.4	▲ 2.3	▲ 1.6	▲ 0.6	3.7	▲ 2.5	▲ 10.5
サービス業(他に分類されないもの)	0.8	▲ 2.1	▲ 5.1	7.8	6.7	▲ 12.3	12.2	4.1
合 計	▲ 5.3	▲ 3.0	1.6	1.4	▲ 4.9	▲ 1.0	▲ 3.9	▲ 7.9

(注)学卒、パートタイムを除く

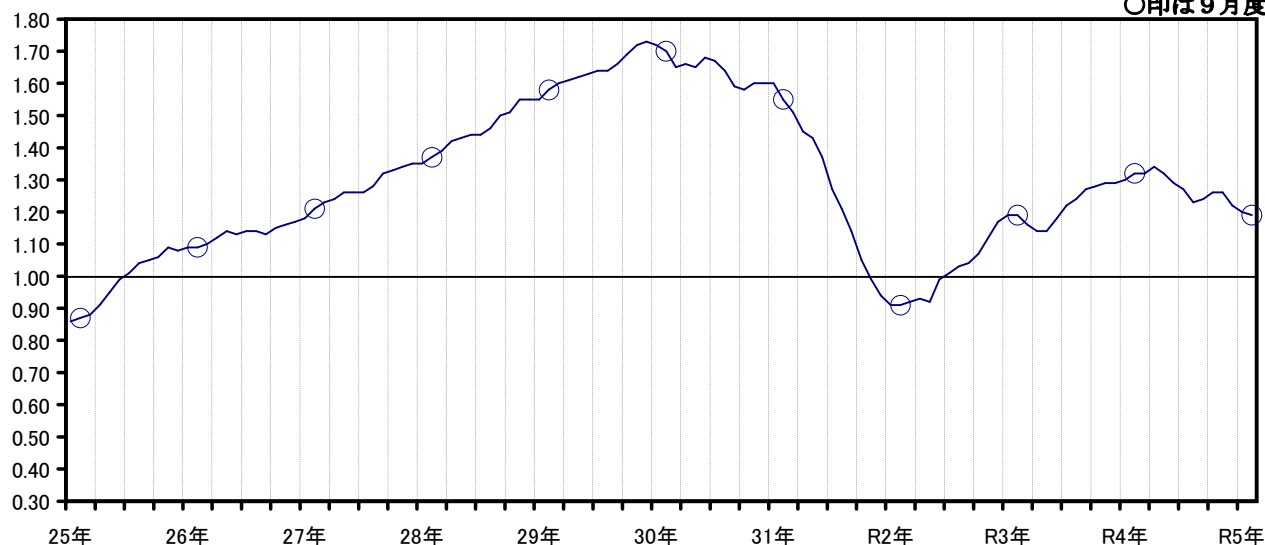
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は9月度



(2) 雇用保険受給者実人員

9月 = 12,705人

*前月比: 4.7%減

*前年同月比: 6.0%増

<概況>

9月の雇用保険受給者実人員は12,705人で、前月比は4.7%減と、5か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は6.0%増と6か月連続で前年実績を上回った。
 完全失業率(全国)は2.6%と前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(令和5年4~6月)の完全失業率は2.3%で、前期(令和5年1~3月)と同水準であった。

<最近の動き>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実人員(人)	10,187	10,303	10,038	10,836	12,069	12,704	13,329	12,705
前月比(%)	▲3.2	1.1	▲2.6	7.9	11.4	5.3	4.9	▲4.7
前年同月比(%)	▲3.4	▲2.7	0.3	4.4	5.0	6.3	6.1	6.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.3	▲1.0	0.8	6.9	3.1	6.0	3.4	2.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.8	2.6	2.6	2.5	2.7	2.7	2.6

(注)季節調整値

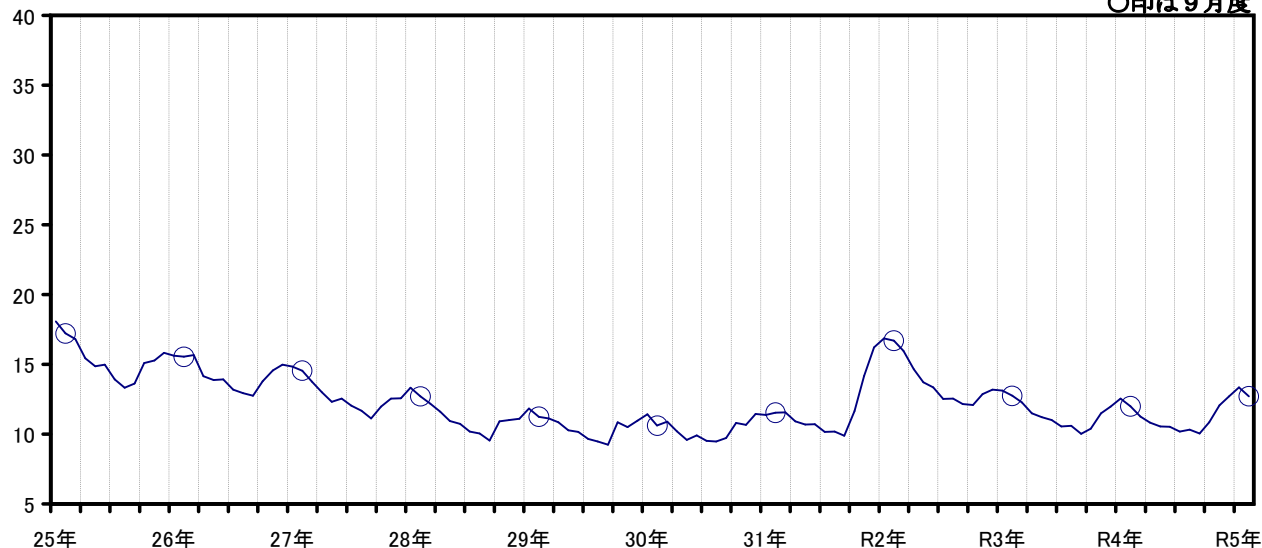
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は9月度



(3) 所定外労働時間指数

8月 = 116.6

*前月比(季節調整済指数): 2.5%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 同水準

<概況>

8月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.6(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は0.0%と、前年と同水準となった。

業種別にみると、製造業(前年同月比2.2%増)、情報通信業(同17.5%増)がいずれも2か月ぶり、運輸業・郵便業(同7.4%増)が5か月連続、医療・福祉(同1.4%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同14.6%減)が3か月ぶり、卸売業・小売業(同32.6%減)、その他のサービス業(同7.7%減)がいずれも8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
指数	116.9	115.1	115.5	117.8	122.9	127.1	119.6	116.6
前月比(%)	▲0.8	▲1.5	0.3	2.0	4.3	3.4	▲5.9	▲2.5
前年同月比(%)	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	0.0	0.8	▲0.9	▲2.3	0.0	▲1.6	▲0.8	▲0.9

*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
建設業	▲30.3	▲0.7	▲1.2	7.9	▲7.8	37.8	18.7	▲14.6
製造業	2.1	▲4.4	▲3.8	2.7	3.9	10.5	0.0	2.2
情報通信業	▲1.8	32.7	10.0	▲8.2	▲4.6	16.6	▲17.1	17.5
運輸業・郵便業	▲7.7	▲6.6	▲4.1	9.1	3.5	4.6	7.3	7.4
卸売業・小売業	▲19.8	▲12.1	▲5.6	▲7.1	▲35.9	▲25.6	▲23.2	▲32.6
医療・福祉	17.8	1.3	5.8	▲5.2	0.0	10.8	4.3	1.4
その他のサービス業	▲12.9	▲15.8	▲4.0	▲12.9	▲20.5	▲19.7	▲15.2	▲7.7
調査産業計	1.7	0.8	2.5	2.4	2.6	8.7	2.5	0.0

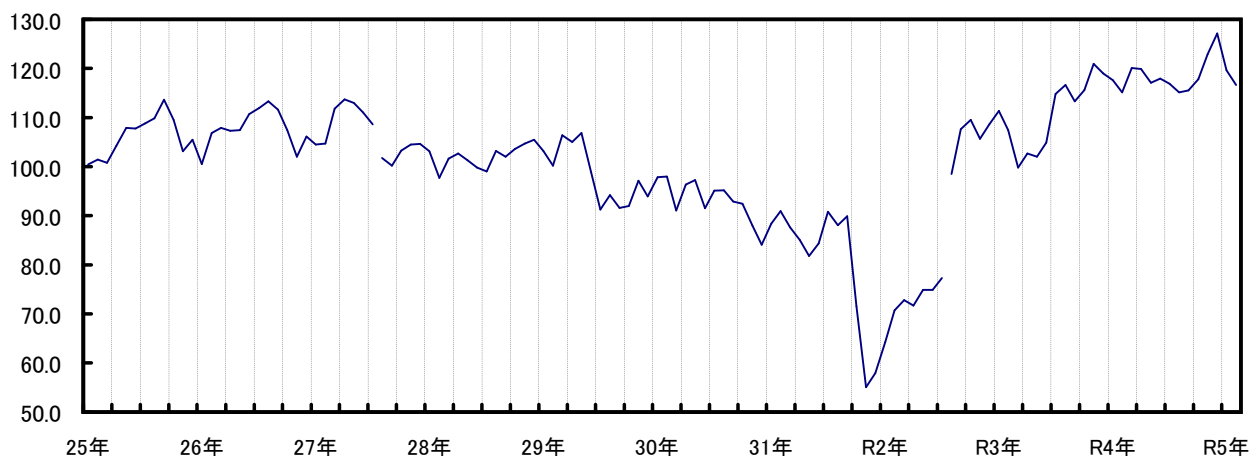
*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

10月 = 119.1

(令和2年=100)

*前月比: 0.4%下落

*前年同月比: 0.8%上昇

<概況>

10月の国内企業物価指数は119.1となり、前月比は0.4%の下落となった。また、前年同月比は0.8%の上昇となった。

	R5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
国内企業物価指数	119.7	120.1	119.3	119.2	119.5	119.8	119.6	119.1
前月比 (%)	0.1	0.3	▲0.7	▲0.1	0.3	0.3	▲0.2	▲0.4
前年同月比 (%)	7.4	5.8	5.1	4.1	3.6	3.4	2.2	0.8

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

9月 = 142,841億円

(銀行、信用金庫)

*前月比: 0.6%増

*前年同月比: 0.3%減

<概況>

9月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,841億円で、前月比とは0.6%の増加となった。また、前年同月比は0.3%の減少となった。

	R5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸出残高(億円)	143,026	144,419	143,583	142,867	142,709	142,257	142,029	142,841
前月比 (%)	▲0.0	1.0	▲0.6	▲0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.2	0.6
前年同月比 (%)	0.4	1.4	1.0	0.6	0.2	▲0.3	▲0.4	▲0.3

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

8月 = 1.269%

(県内地銀4行総平均)

*前月差: 0.003ポイント減

*前年同月差: 0.053ポイント減

<概況>

8月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.269%で、前月から0.003ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.053ポイントのマイナスとなった。

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
貸出約定金利 (%)	1.298	1.296	1.292	1.291	1.286	1.279	1.272	1.269
前月差(ポイント)	▲0.005	▲0.002	▲0.004	▲0.001	▲0.005	▲0.007	▲0.007	▲0.003
前年同月差(ポイント)	▲0.072	▲0.068	▲0.063	▲0.058	▲0.058	▲0.055	▲0.057	▲0.053

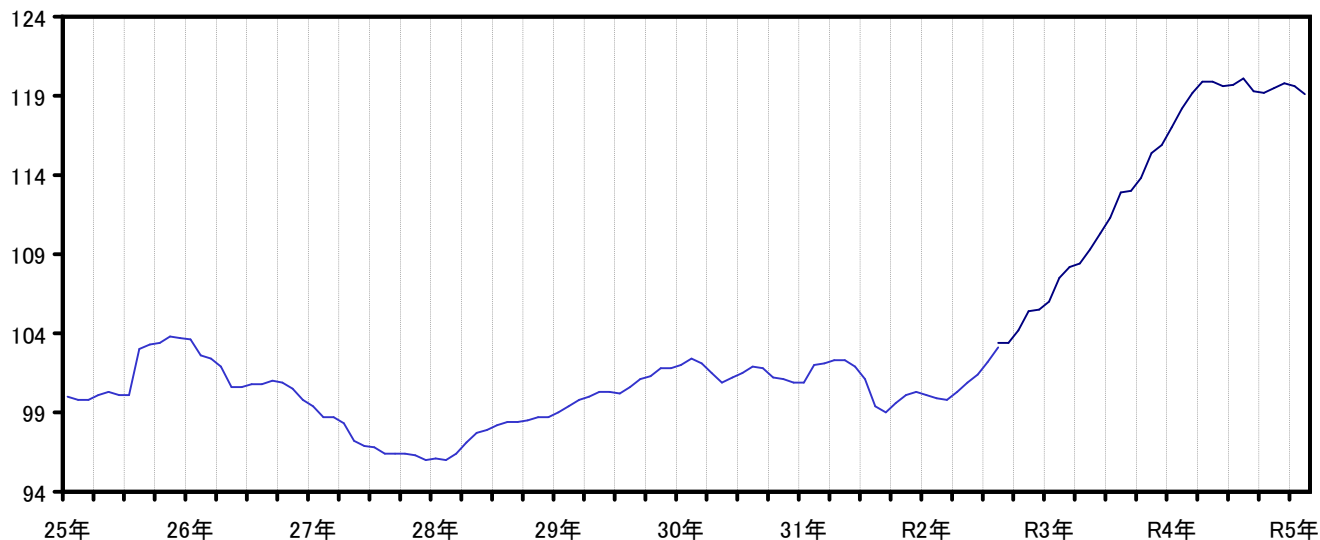
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

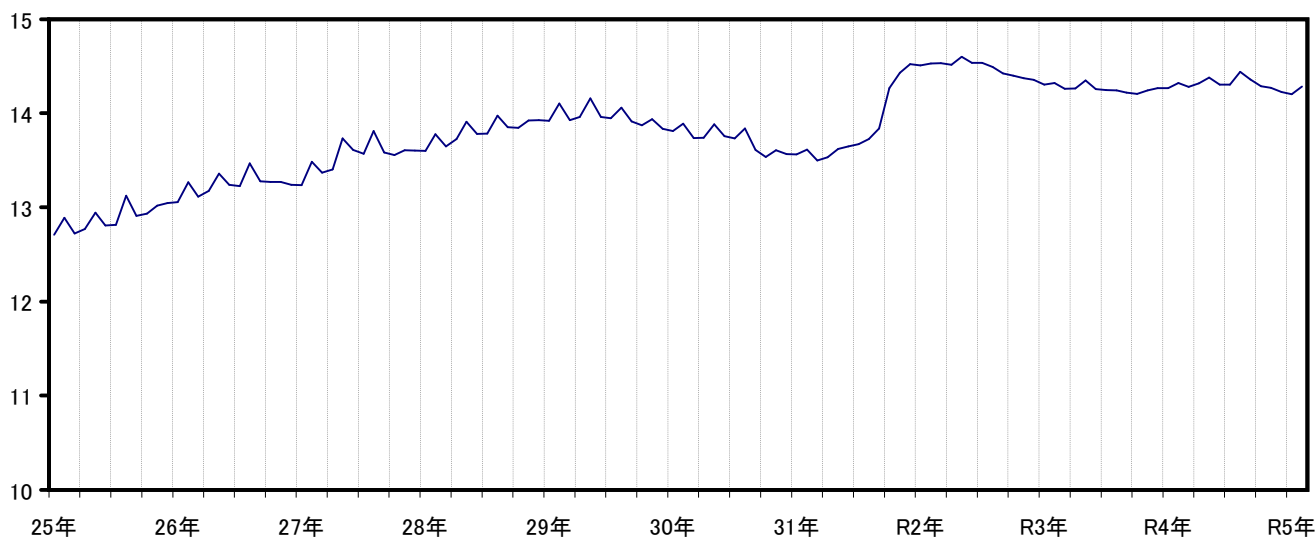
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



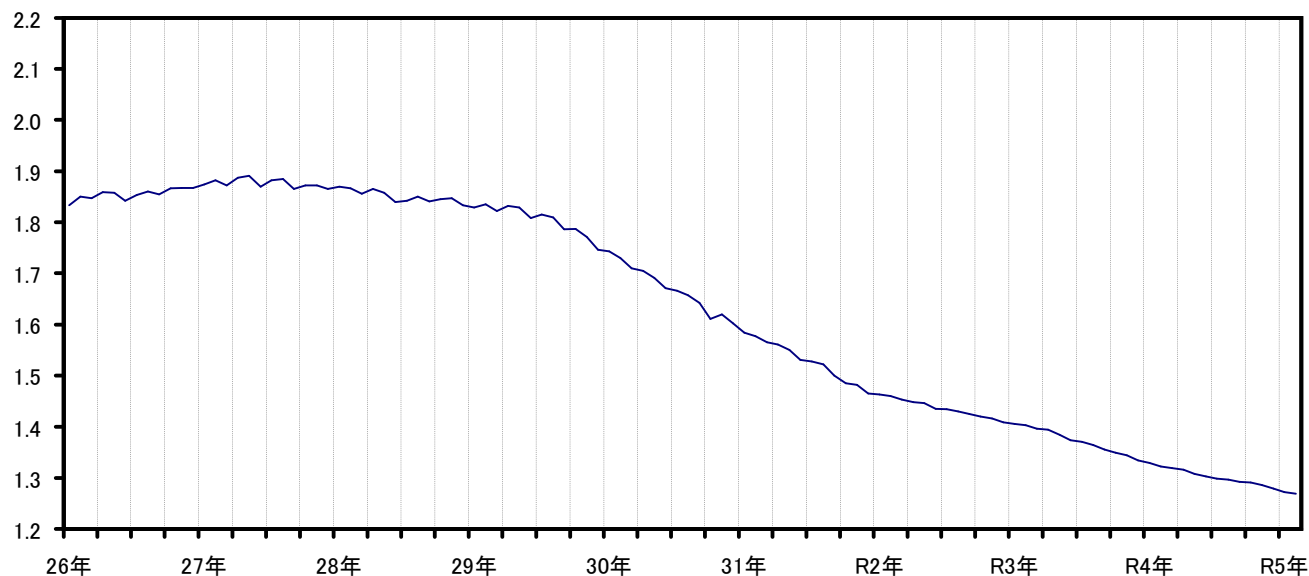
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**9月 = 23,777百万円**

*前年同月比： 11.1%減

<概況>

9月の保証承諾は、金額は23,777百万円（前年同月比 11.1%減）、件数は1,860件（同 13.2%減）と、いずれも前年実績を下回った。

	R 5年2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
保証金額（百万円）	21,917	35,976	15,395	22,849	28,390	25,377	26,616	23,777
前年同月比（%）	27.7	35.2	▲ 52.5	▲ 33.7	▲ 15.3	8.2	4.7	▲ 11.1
保証件数（件）	1,682	2,457	1,302	1,637	2,066	1,881	1,971	1,860
前年同月比（%）	4.4	2.8	▲ 23.2	▲ 13.8	1.8	8.1	0.6	▲ 13.2

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**10月 = 149.53円/ドル**

*前月差： 1.86円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 2.52円安

<概況>

10月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は149.53円で、前月と比べて1.86円の円安となり、6か月連続で円安となった。

<最近の動き>

	R 5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
平均相場（円）	133.85	133.33	137.37	141.19	141.21	144.77	147.67	149.53
前月差（円）	1.17	▲ 0.52	4.04	3.82	0.02	3.56	2.90	1.86
前年同月差（円）	15.34	7.29	8.59	7.33	4.58	9.53	4.53	2.52

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****10月 = 17件**

*前年同月比： 22.7%減

<概況>

10月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は17件（前年同月比 22.7%減）と前年実績を下回り、負債総額は6,592百万円（同 152.2%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の76.5%を占め、15か月連続で50%以上となっている。

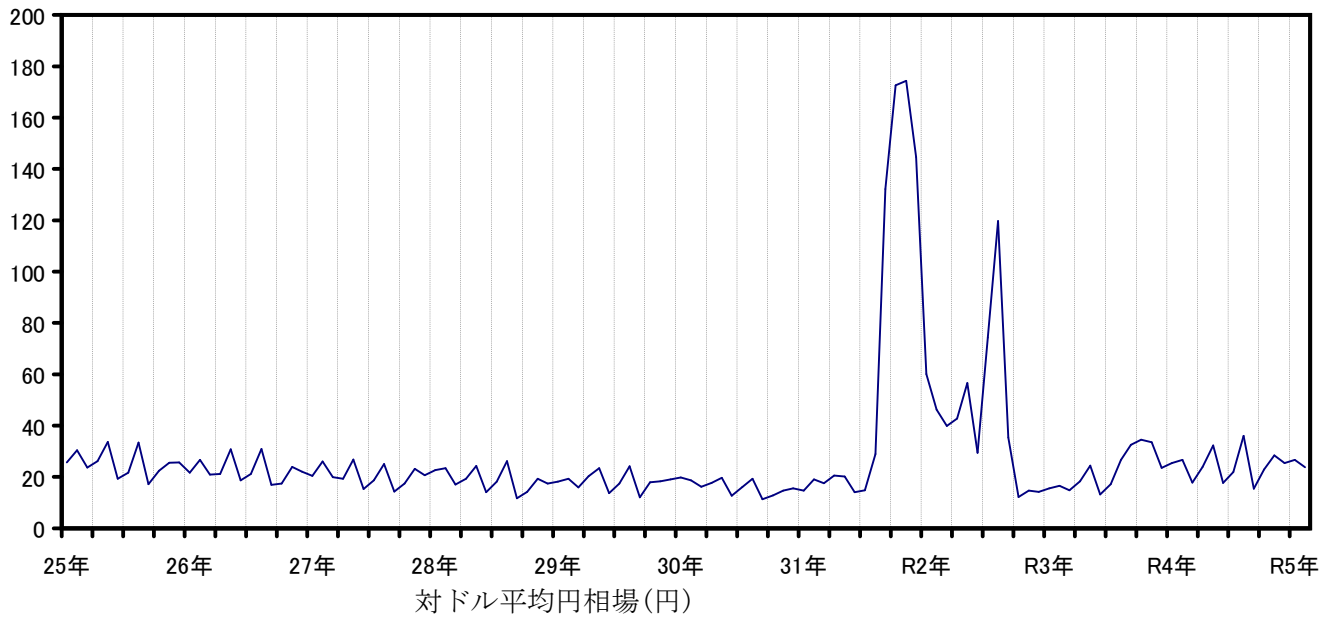
	R 5年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
倒産件数（件）	30	11	17	15	24	15	31	17
前年同月比（%）	87.5	▲ 42.1	▲ 5.5	0.0	380.0	66.6	93.7	▲ 22.7
うち不況型倒産件数(件)	22	7	11	13	19	13	25	13
負債総額（百万円）	3,669	627	3,470	1,630	19,697	2,247	1,666	6,592
前年同月比（%）	143.4	▲ 89.4	85.0	▲ 15.7	11,155.4	8.0	34.3	152.2

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

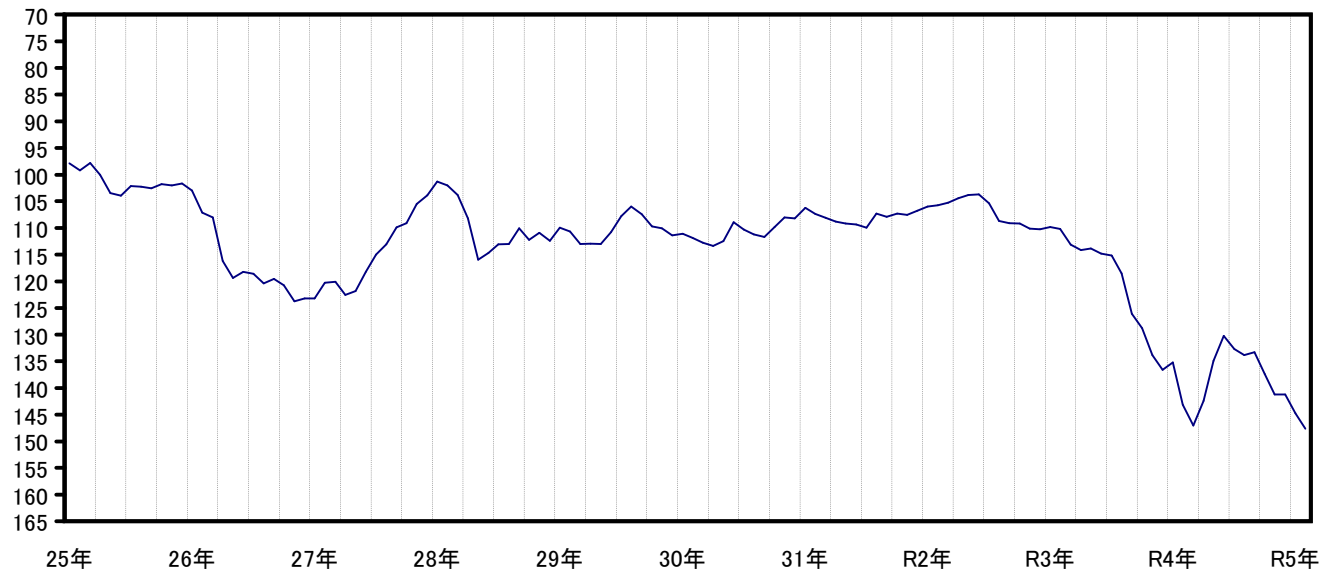
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

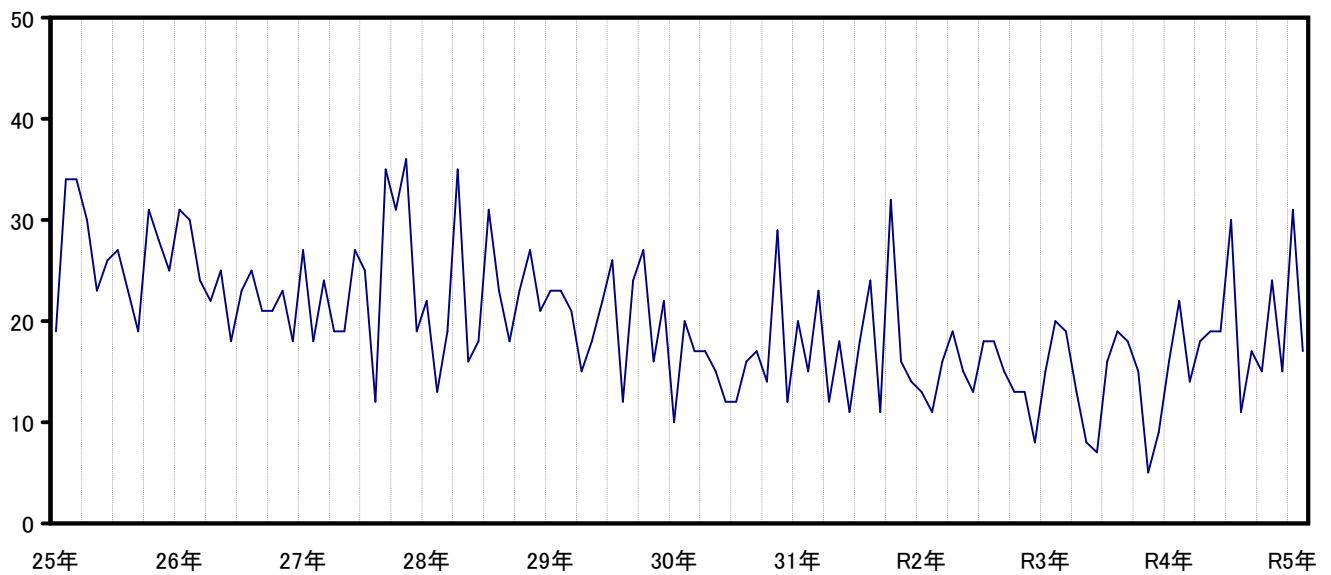


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和5年9月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>8月の国内二輪車生産台数は、49,286台（前年同月比 21.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、7,516台（同 48.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,490台（同 46.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,884台（同 15.8%減）で2か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,396台（同 8.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、29,723台と前年実績と同水準であった。輸出向けは、29,603台（同 27.1%減）で、13か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>8月の自動車国内生産台数は、639,383台（前年同月比 9.4%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。輸出は354,697台（同 20.7%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続で前年実績を下回ったものの、乗用車が8か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも8か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>9月の冷蔵庫の国内出荷額は411億円（前年同月比8.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は300千台（同 0.8%増）で、11か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>9月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは604千台（同 6.3%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は73千台（同 2.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>9月の携帯電話の国内出荷台数は、721千台（同 41.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、546千台（同 48.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は75.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>9月の工作機械の受注総額は、1,339億4,200万円（前年同月比 11.2%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は888億9,700万円（同 9.7%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが323億8,000万円（同 31.8%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。内需は450億4,500万円（同 14.1%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「原材料の価格上昇を価格転嫁できず、採算は厳しい状況が続いている。」「8月、9月の仕事量が半減し、このような状況が続くと会社自体が持たない。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

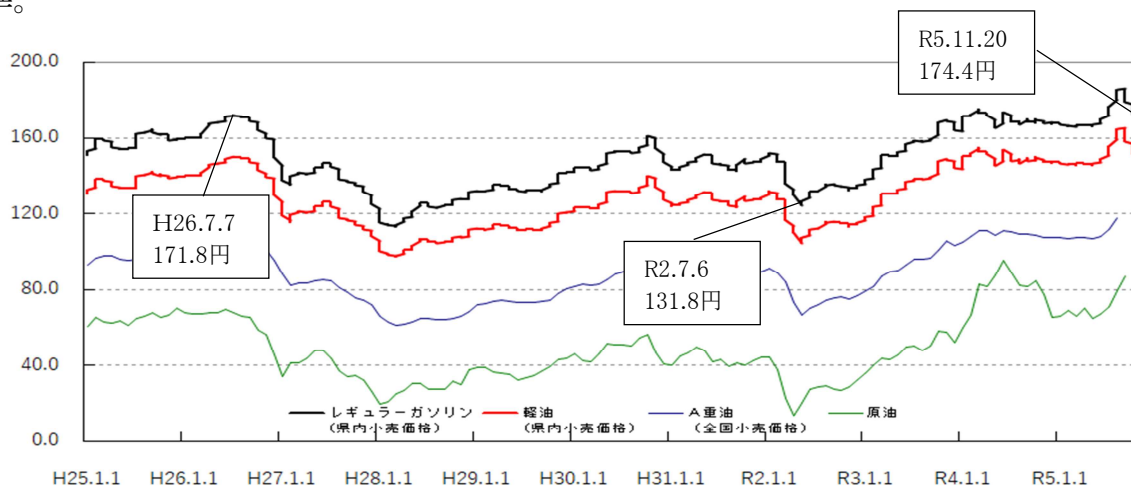
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>9月の県内楽器メーカーの販売金額は、57億1,607万円（前年同月比1.0%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は輸出向けが39億7,678万円（同22.5%増）で、14か月連続で前年実績を上回り、国内向けが17億3,929万円（同27.9%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>ピアノ生産台数は3,035台（同8.4%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが1,958台（同11.5%減）、グランドピアノが1,077台（同2.2%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,243台（同1.2%減）で3か月連続で前年実績を下回り、国内向けが823台（同38.5%減）で3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>9月の紙・板紙の国内出荷高は、1,678千ト（前年同月比8.5%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は801千ト（同8.9%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。板紙は877千ト（同8.1%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、418千ト（同10.2%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、154千ト（同3.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>9月の県内生産量は、食缶類が国内向け962千箱（前年同月比8.8%減）と8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は669千箱（同13.0%減）と4か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は448千箱（同13.1%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は293千箱（同2.5%増）と2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,151千箱（同10.9%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>9月の広幅織物の県内生産は、801千㎡（前年同月比2.0%増）で、7か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、759千㎡（同3.6%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、42千㎡（同19.9%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同16.1%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>9月の全国百貨店での家具販売額は、40億752万円（前年同月比1.9%減）と3か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、502億981万円（同3.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>9月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,452百万円（既存店前年同月比0.3%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品及び家庭用品の売上げが前年同月の実績を下回ったが、食料品の売上げが前年同月の実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、雑貨（化粧品、宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、物産展の売上げも好調だった。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは同程度であった。映画館等サービス施設の売上げが好調だった。一方、気温が高かったことから秋物の衣料品の売行きは良くなかった。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、売上げ及び来客数が前年同月並みだった。弁当・総菜は特産品のキャンペーンが好調で売上げが増加した。一方、精肉は販売価格が上昇したため、売上げが減少した。</p> <p>西部の総合スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特にアウトドア用品の売上げが不調だった。一方、旅行需要の高まりから旅行用品の売上げが好調だった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年9月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約38万人で、前年同月比24.6%増となった。</p> <p>本年の9月は、晴れの日が多く、天候に恵まれていたことや、大河ドラマ「どうする家康」関連施設への入込が増加したことなどが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約58万台となり、前年同月比4.0%増となった。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉静岡県観光政策課</p>

<原油高の状況について>

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー174.4円/Lと、平成20年8月以来の高水準。



出典：石油情報センター

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
完成車生産台数(台)	24,502	26,832	27,553	23,018	23,336	28,877	16,417	18,694	27,567
前年同月比(%)	16.4	▲0.8	▲1.6	▲0.7	36.8	8.1	▲37.6	▲30.0	▲7.4
KD輸出額(百万円)	1,491	1,576	1,663	1,746	1,210	789	1,350	874	1,005
前年同月比(%)	4.0	▲2.8	▲14.3	▲9.6	6.8	▲11.3	36.5	▲3.5	▲16.7

<楽器>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生産総額(百万円)	2,827	3,294	3,528	3,269	3,439	4,012	3,738	2,919	3,484
前年同月比(%)	1.4	12.7	9.1	4.6	29.0	26.3	16.6	13.0	7.0

<缶詰>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
食缶生産高(千ケース)	914	910	1,023	1,008	916	982	1,021	954	962
前年同月比(%)	3.5	▲2.7	▲0.7	▲4.2	▲2.2	▲18.5	▲9.4	▲12.1	▲8.8
うち水産缶詰(%)	4.9	▲8.3	▲4.0	▲3.9	4.0	▲17.0	▲9.7	▲18.1	▲13.0
農畜産缶詰(%)	0.7	10.6	7.2	▲5.0	▲16.5	▲22.6	▲8.4	5.0	2.5
飲料缶生産高(千ケース)	5,066	6,130	7,467	7,837	7,674	7,495	7,353	7,092	7,151
前年同月比(%)	7.3	0.6	0.5	11.0	▲0.2	▲5.4	▲7.2	▲6.0	10.9

<繊維>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
広幅織物(千㎡)	747	691	708	676	644	693	676	674	801
前年同月比(%)	0.0	4.8	▲7.9	▲7.2	▲4.8	▲6.3	▲8.2	▲0.9	2.0
小幅織物(千㎡)	15	16	19	19	20	19	19	15	18
前年同月比(%)	3.1	0.8	12.1	10.5	15.6	11.2	23.7	12.8	16.1

<観光>

	R5年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,417	1,454	1,914	1,521	1,724	1,342	1,820	2,435	1,724
前年同月比(%)	8.8	50.4	30.9	8.3	15.4	16.5	7.2	1.2	13.1
観光施設(10施設)入込 (千人)	352	321	494	463	543	316	347	439	376
前年同月比(%)	29.2	63.1	20.1	7.1	▲0.9	19.1	19.9	▲8.8	24.6
有料道路(4路線)通行 量(千台)	548	557	644	560	607	523	626	693	584
前年同月比(%)	5.6	19.8	3.4	2.0	▲2.9	▲3.9	2.8	▲1.7	4.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和5年11月号 通巻571号

発行 静岡県経済産業部
令和5年11月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>